

# 啓伸塾 便り

9月(長月)  
September

基礎学力を重視する学習塾  
**啓伸塾**  
ただ今、新入塾生募集中

## 賢い親は受験を生かす！

子育てにおいて、大きな出来事の一つが子供の受験だと思います。親の関心は、子どもの成績と、どこに進学できるかに向かいます。その目標をかなえてあげることが親に課せられた最大の使命であると感じるのも親心だと思います。

ところが、子どもの受験に熱心になるほど、見失いやすいことがあります。それは「受験の持ち味」です。

これを知らずに、ただ闇雲に受験に取り組んでしまうと、せっかくの受験体験を不毛に終わらせるばかりか、むしろ弊害を招くことも少なくないのです。

単に志望校に入れることしか念頭にないとしたら、入試の結果がどうあっても、子どもに自己中心の考え方や習慣(歪んだ競争意識、自己に対する過少評価、自己嫌悪、自己喪失など)を身につけてしまいかも知れません。

親と子が、精神的にも、経済的にもせっかくな大きなエネルギーを注ぎながら、このような結果しか残らないとしたら、あまりにももったいないことです。

では、「受験の持ち味」とは何をいいますか。「受験」といえば、受験そのものだけに目を奪われがちですが、その背景にはもっと大きな「人生」があります。

受験は、子どもたちが、これからの長い人生を自立して生きていくために必要な人間力を習得する絶好の場なのです。

## もう一度勉強のやり方について考えよう！

テストで点数を上げるためには次の3つの要素を満たす必要があります。

- ① 学習意欲を高めること(やる気)
- ② 勉強法を理解して勉強すること
- ③ たくさん勉強すること

①の学習意欲を高めるためには、目標を持つことが必要です。

子供たちは、実際の数字を上げて何点以上が目標と、テスト前に学校の計画表に書きます。しかし、それは自分で決めた目標でしょうか。そうでないことが多いようです。目標は、ただ、保護者の方が一方的に決めるのではなく、子どもたちと一緒に考えて決めるようにして下さい。自分の決めたことには、責任を持ちます。目標がないとやる気になりません。少なくとも自己ベストの目標を持ちましょう。

②の勉強法について

成績上位の子は、それが身についています。そうでない子のノートを見ると、やり直しをしても正しい答えを自分の間違った答えの上を書いて、答え合わせ、やり直しを、した気分になっています。これは正しい勉強法とはいえません。

正しい勉強法とは、間違えた問題をできるようにすることです。これは、小学校のときに身につけてほしいことです。本格的に勉強を始めるのが、小学校に入学してからです。小学校でその勉強のやり方を教える必要があるのに、それが身につけていない子が多いのです。保護者の方も学校まかせにしないで、子どもの勉強の様子をもっと見てください。そして、ここに載せた正しい勉強法を教えてあげて下さい。

③のたくさん勉強すること

成績下位の子は、これが全くできていません。「家では勉強できない」と、子どもたちはよく言います。塾ではそれがわかっていますので、定期テスト前の土・日教室を開けますが、そのようにしても思うような点数が取れないのは、絶対的な勉強時間が不足しているからです。学校や塾だけの勉強時間では、テストで点数を取るための勉強としては足りません。

学校や塾で教えてもらって、できるようになった問題は、今度は自分一人でやってみる。この繰り返しで成績を上げる最も効果的な勉強法の一つです。自分一人で、できることを増やすのが、勉強です。

成績上位の子は教えてもらって納得し理解した問題を、今度は自分ひとりで解けるのかを疑い、もう一度やってみます。成績下位の子は、教えてもらったら、それでできると安心して、何もしないのです。

## 9月の予定

### 中3生入試対策講座

9月14日(土)午後1時30分から毎週土曜日始まります。7日(土)はお休みとします。夏期講習から始まった受験勉強が本格化します。ご予約ください。

### 第2回漢字検定

10月20日(日)第2回漢字検定を行います。締め切り日 9月14日(土)です。

特に中3生は、受験勉強の一環として受検をお勧めします。

また、高校受験での願書に載せられる最後のチャンスになります。

### 祝日の授業について

9月16日(月)敬老の日・23日(月)振替休日は、小・中学生とも授業を行います。

たとえば、「自己実現」です。私たちの人生は自己実現を体験することで豊かになります。それは、目標を立て、それに向かって努力をし、達成していくという繰り返しのなかで体験できます。受験も、合格という大目標に向かって日々の小さな目標を達成していくことのくり返しです。人生における自己実現のあり方やパターンとそっくりなのです。ですから、受験の体験は、子どもたちが長い人生を生きていくために必要な人間力を習得する絶好の機会なのです。考えてみれば受験期と子どもの自立の時期が一致しているのも、ただの偶然ではありません。受験という行事をわが子の自立に生かす。

子育ては偉業 百瀬昭次 著  
教育研究者、百瀬創造教育研究所所長